

---

# 白佐の恋の準備

ブータロー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

白佐の恋の準備

### 【Nコード】

N1614B

### 【作者名】

ブーロー

### 【あらすじ】

高木刑事にライバル心を持っている白鳥警部がトロピカルマリンランドでのデートを佐藤刑事に誘うまでのお話です。

**（前書き）**

これは初めての小説です。

この話は、白鳥×佐藤中心だと思いです

高木×佐藤ではありません。

私の一番お気に入りのカップリングだから気にしないでください。

トロピカルマリナランド

そうそこは、新しい建てられた楽しい遊園地！

少年探偵団たち（コナン、博士、哀）もしばしば遊びに行っている所だ。

――それとデートにもいい場所。

デート――そう、それは、彼も望んでいる。

――彼とは白鳥任三郎。

エリートでキャリア組の殺人事件専門の警部である。

そんな彼も佐藤刑事とデートがしたいのだ。

場所は、トロピカルマリナランドを望んでいる。

ここは警視庁。

今日は、晴れ晴れとした天候だ。

警視庁では、いつもどおりデート話で盛り上がっている。

特に佐藤刑事とのデート話が盛り上がっている。

（佐藤さんは大人気だからデートを誘おうとする人が多いみたいですね……）

とても冷静な白鳥警部。

有能な彼の前ではほとんどのライバルが怖じ気ついている。

ライバルも

「白鳥には、勝てねえな……」

という感じであきらめている。

彼は、いつも得意になって『ふっ』って笑っている。  
なぜならば白鳥警部はライバル達を負かしてしまう。

でも高木刑事は、佐藤刑事に対してとても積極的。

ひょっここのわりには、なかなか佐藤刑事のことをあきらめない。  
いや、あきらめが悪いって言ったほうがいいか。

彼は白鳥警部が唯一認めるライバルなのだ。

だから白鳥警部は、佐藤刑事が好きな刑事達を使って、高木刑事と  
佐藤刑事の中を邪魔する。

（そう、彼さえ佐藤さんをあきらめれば僕と佐藤さんが結ばれる。）  
白鳥警部は佐藤さんとの恋を進展させることを企んでいる。

そして、白鳥警部は、ライバルの高木刑事を出し抜こうとしている。  
それで白鳥警部は佐藤刑事に話しかける。

「佐藤さん、もしよろしければ一緒にトロピカルマリナランドにで

も行きましょう。

もちろん僕が全部おごりますよ……」

白鳥警部はデートの誘いをする。

（ん？僕が佐藤さんにトロピカルマリニランドの誘いをしたら急に彼が慌てだしましたね……）

「佐藤さん、僕が全部おごりますよ。

もちろん白鳥警部の倍以上おごりますよ。」

（ふっ、高木君そんなこと言って君も佐藤さんとデートするつもりですね……）

高木刑事が睨みつけるように見る。

佐藤刑事はしばらく黙っていた。

「心配しなくても高木君とも白鳥君とも行くわよ……あなた達行きたいでしょ。トロピカルマリニランド！」

（えっ……佐藤さん高木君も来るんですか？

僕はトロピカルマリニランドであなたと2人きりで遊びたいのですが……

しょうがないですね……）

がっかりして頭を抱え込む。

そして、ため息を吐く。

（僕はトロピカルマリニランドであなたと楽しい思い出を築く。

そのためにライバルの高木君には、負けない。）

” 白鳥警部は必ず佐藤刑事と幸せになる！”

白鳥警部は自分で誓った。

白鳥警部と高木刑事は黙っていた。

佐藤刑事が改まってしゃべりだした。

「高木君、白鳥君非番の日にトロピカルマリニランドに行きましょう。

」

それだけいい残して彼女は黙々と仕事を始めた。

白鳥警部は非番の日にトロピカルマリニランドに行くことを楽しみにしている。

そして、その日がくるのを待っている。

## （後書き）

この話はあくまでもデートに誘ったまでの話です

これからは、続編として

『トロピカルマリナランド』を連載するつもりです。  
まだ話の中身まで考えていません

これから考えたら連載します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1614b/>

---

白佐の恋の準備

2010年10月9日08時23分発行